

令和4年度

まちづくり推進部 増田地域局の方針書

組織名	まちづくり推進部 増田地域局
所属長名	阿部 隆雄

1. 組織の使命(ありたい姿)

地域のみなさんが愛着を持ち「人と地域が燦くまち」を目指して、地域づくりを進めます。

2. 組織の抱える課題(現状)

- ・地域課題の解決に向けて、地区交流センターと市民が一体的に運営できるよう支援する必要があります。
- ・地域の歴史と文化を活かし、各種団体などと連携を進め、地域の魅力向上に努め、暮らし続けたい地域にする必要があります。
- ・市民から親しまれる地域局として、市民に寄り添った対応や公共施設の安全安心な維持管理を目指す必要があります。

3. 今年度の『スローガン』

歴史と文化が息づく、明るく元気な地域づくり

4. 今年度の方針

- (1) 市民が主役の持続可能な地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを目指します。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等を誇りに思えるまちづくりを進めます。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を目指します。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民が主役の持続可能な地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを目指します。
	取組内容	①地区交流センターの取組み・運営を支援し、定期的な情報共有を進め、相互の交流を推進します。 ②各地区の取組み・活動状況などの積極的な紹介を継続し、地域住民の理解と参加しやすい取組みを推進します。 ③各地区交流センターの活動に、相互の住民が参加しやすい取組みを進めます。
(2)	実現したい成果	市民に愛着と歴史、文化、まんが等を誇りに思えるまちづくりを進めます。
	取組内容	①市民が町並み、まんが美術館や地域で守られてきた伝統文化を誇りに思えるよう、関係団体と連携を進め、まちづくりに活かせるよう努めます。 ②地域の学校、地域の各団体などと一体となり、地域の魅力を紹介する取組みを推進します。
(3)	実現したい成果	市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を目指します。
	取組内容	①庁内各課の情報共有を図り、円滑で丁寧な誘導と合せ、スムーズな窓口対応に努め、来庁の皆様が利用しやすい庁舎を目指します。 ②多種多様な相談に対し、的確な対応のスキルとチーム力の向上に努め、信頼される地域局を目指します。 ③公共施設の適正な維持管理に努め、施設改修による利用者の安全安心を図るため、関係課と連携し安全な改修を目指します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市民が主役の持続可能な地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを目指します。
定期的なセンター長、担当者会議を開催し、各地区の課題解決に向けて積極的な支援を実施、その中から4地区共同による地域資産を活用した事業への取り組みにつながった。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等を誇りに思えるまちづくりを進めます。
地域の学校を含め、住民団体など多くの関連団体と連携し、「蔵の日」を令和元年以来、開催することができた。また、まんが美術館など地域の資産を活用した、住民と小中学生も参加したまちづくりにつながる取り組みができた。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を目指します。
課内研修を实地し、業務の流れや進捗を共有し、職員間の協力体制が回り、来庁者の動線を察知した声掛けにより不安感の払拭と適正なサービスに努めた。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- ・地域の伝統文化を引き継ぐため、課題などあり方について関係団体と検討を進める
- ・マイナンバーカードの更なる普及拡大に向け、マイナポイントの延長などの周知を図り、窓口での声掛けや臨時窓口、出張申請などへの組みにより、交付率の向上につなげたい。
- ・施設改修による利用者の影響が最小限となるよう、周知や利用時の丁寧な動線誘導に努め、利用時の安全を図り、早期の利用再開を目指す。
- ・公共施設の適正な維持管理に努め、不具合箇所について修繕の対策方法等を検討し、利用者が安全安心に利用できる施設を目指す。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市民が主役の持続可能な地域づくり活動の推進により、暮らし続けたいまちづくりを目指します。
 - ・4地区の各交流センターが情報共有と連携を図るため、定期的な事務担当者やセンター長会議、合同連絡会の開催を支援することにより、定期的な会議を開催し、各地区相互の交流に繋がった。
 - ・4地区の交流センター協働事業への取り組みにも繋がり、「地区センターだより」や市ホームページなどを活用し、活動内容を広く、紹介すると伴に、活動への参加に繋がるよう継続的に実施する必要がある。
- (2) 市民に愛着と歴史、文化、まんが等を誇りに思えるまちづくりを進めます。
 - ・関係団体、関係部署との月1回の定期的な情報交換により、地域の資源のさらなる有効活用とコロナ禍の中で開催するための工夫など、各種取組みを推進することができた。
 - ・マンガの吹き出しによる「増田のうわさ」、「増田蔵の日」への増田中学生のみなさんの参加や「増田の花火」「たらいごぎ」などの行事、地域資産を活用した「子ども自然体験塾」、「全町クリーンアップ」への参加など、地域を知っていただくことに繋がったと思われる。
- (3) 市民に親しまれる安全安心な施設の適正な維持管理と市民サービスの信頼向上を目指します。
 - ・定例課内会議を開催し、業務内容及び進捗状況の共有のほか課員が講師となり研修することにより、各業務の理解が深まり担当係を超えた業務支援も円滑に実施され、来庁者への声掛けや案内により不安を払拭し、適正なサービスができる環境を整えられた。
 - ・公共施設の施設改修については、多目的研修センターの空調改修において各部の工事予定を細かく「お知らせ」などで事前周知に努め、施設利用者への不便を最小限とし、円滑に完了した。他施設も老朽化し、支障等の発生した都度に、応急的修繕に対応しているが、財産経営推進計画に基づき、改修に向けた具体的な検討の必要がある。